

# 小金井を元気にする会ニュース

H28.10.5発行

## 西岡市長の公約の変遷

- 平成27年12月 **西岡市長の公約 蛇の目跡地に6施設複合化**  
(本庁舎・第二庁舎・本町暫定庁舎・前原暫定集会施設・福祉会館・図書館)  
**建設費は67億円と主張**
- 平成28年3月 **庁内でプロジェクトチームを作り公約の検証を指示**
- 平成28年5月 **公約の撤回・方針変更**  
図書館と前原暫定集会施設を除き、4施設2機能優先。さらに防災機能優先
- 平成28年8月 **最終報告書=6施設で109億円、4施設でも79億円**
- 平成28年10月4日 **新庁舎の建設を「ゼロベースで見直す」ことを発言**

## 西岡市長の公約「6施設複合化」検証 —最終報告書が議会に提出される—

小金井市の方針として、総合庁舎を蛇の目跡地に建設することは決まっていますが、この方針が現在に至るまでには紆余曲折がありました。背景は何といつても財政の問題です。土地の購入を決めた時以降バブルが崩壊、さらにリーマン

ショックの影響と厳しい財政運営を強いられた小金井市がこの土地を自前のものにしたのは平成23年度と当初の計画より5年も長くかかってしまいました。

その後、建設基金を積み立てたものの平成27年度で9億円、今年9月議会ではさらに3億円の積み立てをし現在12億円です。一方では平成25年の段階で建設費用が55億円と見込まれていました。

昨年12月に初めて市長に就任した西岡真一郎市長は選挙の際、市役所問題を決着するとして、蛇の目跡地に市役所関連施設と福祉会館と図書館の6施設を複合化を公約とし、その費用は67億円と主張して当選しました。

市長就任後、西岡市長は公約の検証を職員に指示、庁内に課長職者によるプロジェクトチームが結成され、8月31日報告書が議会に提出され、各会派から厳しい意見が出ました。

### 6施設で109億円、4施設優先でも79億円

報告書には6施設複合化には109億円がかかると報告されており、うち81億円は地方債(借金)によるとしています。また、庁内プロジェクトチームによる検証中の5月に、西岡市長は公約の6施設

複合化を撤回、4施設2機能で防災機能を優先するとの方向転換をしましたが、それでも79億円と試算され、当初の67億円を大きく超過することが明らかになりました。

### 財政計画、スケジュール、新旧計画の比較等示す

5月に議会から6施設複合化の財政計画、スケジュール、新旧計画の比較等示すように要望が出されていましたが、最終報告にはこれらについて一切掲載がありませんでした。さらに報告書の最後にまとめとして、事業には多額な支出を伴うとして「事業の推進に当たっては他の行政需要とのバランス等を勘案の上、総合的に判断されていくべきもの」との指摘が載りました。

### 「新福祉会館は単独で建設しなければ相当遅れる危険性」

これは議会からの指摘です。稲葉前市長は退任する前に、本町暫定庁舎用地に単独での新福祉会館建設を進めており、平成31年度完成を示し、市民検討委員会を設置するところまで進んでいました。しかし、西岡市長になってこの計画にストップがかかり、自らの掲げた公約の検証に入っていました。最終報告書から見えてくるものは、複合化は結局新福祉会

## 6施設複合化事業案に基づく概算建設工事費

対象施設	概略規模(上限値)(㎡)	想定事業費(百万円)	備考
総合庁舎	12,000	4,800	
福祉会館機能	3,500	1,400	公民館を含む
図書館	2,000~6,000	800~2,400	現状の規模~望ましい規模不足分
立体駐車場	3,000	380	規模、金額とも基金計画と同様
小計	17,500~21,500	7,380~8,980	容積率緩和により駐車場は加算せず
消費税相当額		738~898	税率10%
合計		8,118~9,878	

\*財源計画には上記金額に設計費、備品、第二庁舎原状回復などが含まれず、さらに10億円程度の費用加算が見込まれている。(最終報告書より)

### 蛇の目跡地の清掃関連施設の整備

館建設計画の先送りにつながり、多くの福祉会館の利用者の期待を裏切るものとなったことです。

現在、蛇の目跡地にはリサイクル事業所を始め、ペットボトルや缶などの処理施設があり、リサイクルの拠点として機